

2016年

第7回

I.B.Sニュース

若手経営者、後継者向け 第4期 アイオー・ビジネススクール活動報告

発行:  アイオーしんきん

セミナーの報告

「第4期アイオービジネススクール」は、5月19日（金）第7回セミナーを開催いたしました。今回の講義は、「未来の人材構成を計画に落とし込む」と題して、(株)タナベ経営マネジメントパートナーズ本部部長の石井利幸様をお招きして、企業が成長するために必要な中期ビジョンにおいて必須の人材構成についてご講義いただきました。

今回の講義は大きく分けると3つのカテゴリーにて構成され、①これまでの振り返り ②未来の人材構成 ③ビジョン・方針の浸透 について説明がなされました。

1つ目は「これまでの振り返り」です。第4期アイオービジネススクールは大きなコンセプトとして中期ビジョン策定をきっかけ、スクールを通して学んでいただきました。自社の存在価値の確認を行い戦略的課題を抽出し、5年後のあるべき姿に対する実行具体策を策定いただきました。今回の勉強会ではこれまでの内容をまず再確認いただきました。

2つ目は「未来の人材構成」です。大企業と違い、中堅企業・中小企業は、事業戦略推進の十分条件が「人材」となる。「何をするか」と同じくらい「誰がするのか」が重要である。「組織は戦略に従う」の言葉の裏には、組織を構成する人材があってこそ成り立つ理論である。中期ビジョンで、策定する事業戦略を推進する組織（組織図）を描き、具体的に「人材」を当てはめる。

3つ目は「ビジョン・方針の浸透」です。全社・部門の方針をそのまま伝えるのではなく、相手のレベルに合わせた指示・命令とやる気づくりをする。メンバーの理解度を高め、全社・部門の方針をメンバーに落とし込む（納得させる）。重要なのは実行することであり、100%の戦略より100%の実行が重要である。業績格差は実行格差である。

以上について、具体的かつ実践的な講義が行われ、講義の後半は、グループワークにより「自社のビジョン」を作成し、各グループ内で発表していただきました。

「第4期アイオー・ビジネススクール」は、今回の第7回セミナーをもって全カリキュラムが終了となり、赤石理事長から各受講生に「修了証書」が手渡されました。その後開催された懇親会には、受講生、タナベ経営関係者、当金庫役職員が参加し、和やかな雰囲気の中で親交を深めました。

講義の様子



参加者の声(抜粋)

・数字を含め、自社の将来を考えるよい機会になりました。
(40代 電気設備設計・施工業)

修了式の様子

・更なる飛躍を目指し、第5期も宜しくお願いします。

(40代 建設業)



アイオー・ビジネススクールについて

当スクールは、経営の基本に着眼し、『体系的な経営の基本の体得と時代を生き抜く先見性』を磨く事を目的として開催しており、内容は勉強会の開催のみならず、各種経営情報（WEB・FAXサービス）の提供を加えて“総合的に”受講生の皆さまの経営活動をご支援しております。

その他、異業種の若手経営者、後継者の方々が集まる、新たな交流の場としてもご利用いただけます。

1. 勉強会

あるべき論を教える教育家ではなく、実践の現場で業績を上げることを本業とする経営コンサルタントが、実践経営の基本を全7回の勉強会で指導・解説します。

第4期 カリキュラム (2時間/1回)

1. 理念
2. 事業
3. 財務
4. ビジョン
5. ゲスト講話
6. 計画
7. 組織

2. 経営情報サービス

日々の行動が成果へと導きます。経営者としての自己啓発、自社の経営改善に役立つ経営情報を期間中、ご提供致します。

1. インターネットサービス

経営現場で培ってきた成功事例や豊富な実績に裏打ちされた改善ノウハウを「見やすく・分かりやすく・生かしやすい」全15種類の多様なコンテンツに集約。

- ・経営情報レポート
- ・ネットセミナー
- ・e-ラーニング
- ・ビジネスフォーム
- 等々

2. FAXサービス

毎月1回、コンサルタントが書き下ろした旬の経営情報をFAXにて配信いたします。

※全国版1枚、地域版1枚を直接FAXにてお届けいたします。

The image shows a screenshot of the 'アイオー・ビジネススクール' website. The main header reads '第4期 アイオー・ビジネススクール' (4th Period Aio Business School). Below this, there is a table titled '第4期 カリキュラム' (4th Period Curriculum) with columns for '期' (Period), '日' (Date), 'テーマ' (Theme), and '内容' (Content). The curriculum items are: 1. 自社の存在価値とは (What is our company's value?), 2. 環境分析から現状を捉える (Understanding the current situation from environmental analysis), 3. 経営現場から現状を捉える (Understanding the current situation from the business field), 4. あるべき姿の設定 (設定) (Setting the ideal state), 5. グスト講話による講話 (Speech by guest), 6. ビジョンと現状 (Vision and current situation), 7. 未来の人材確保に繋がる話し (Talks leading to future talent acquisition). To the right of the curriculum table, there are sections for '定期経営情報のご案内' (Regular Business Information), 'インターネットサービス' (Internet Service), 'e-ラーニング' (e-Learning), and '経営相談・情報交換会' (Business Consultation/Information Exchange Meeting). There are also some charts and graphs showing trends.

お問合せ先

アイオー信用金庫 地域貢献部内 「アイオー・ビジネススクール」事務局

TEL 0270-30-5025 FAX 0270-23-1205